

## 幼児と健康

2024年度 (令和6年度)

評価項目	S	A	B	C
1. 幼児期のこころとからだの発達の意味と課題を理解できる(C-2)	幼児期のこころとからだの発達の意味と課題分野の問題を80%以上正しく回答できる。	幼児期のこころとからだの発達の意味と課題分野の問題を70%以上正しく回答できる。	幼児期のこころとからだの発達の意味と課題分野の問題を60%以上正しく回答できる。	幼児期のこころとからだの発達の意味と課題分野の問題を正しく回答できる割合が60%未満である。
2. 幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成を理解できる(C-2)	幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成に関する問題を80%以上正しく回答できる。	幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成に関する問題を70%以上正しく回答できる。	幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成に関する問題を60%以上正しく回答できる。	幼児期の体の諸機能と生活習慣の形成に関する問題を正しく回答できる割合が60%未満である。
3. 安全な生活とけがや病気の予防を理解できる(C-2)	安全な生活とけがや病気の予防に関する問題を80%以上正しく回答できる。	安全な生活とけがや病気の予防に関する問題を70%以上正しく回答できる。	安全な生活とけがや病気の予防に関する問題を60%以上正しく回答できる。	安全な生活とけがや病気の予防に関する問題を正しく回答できる割合が60%未満である。
4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解できる(C-2)	幼児期の運動発達の特徴と意義に関する問題を80%以上正しく回答できる。	幼児期の運動発達の特徴と意義に関する問題を70%以上正しく回答できる。	幼児期の運動発達の特徴と意義に関する問題を60%以上正しく回答できる。	幼児期の運動発達の特徴と意義に関する問題を正しく回答できる割合が60%未満である。

※原則として、1つでもCに該当する場合は不合格とする

■ 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

C-2【専門的知識・技能2】幼児教育・保育について、科学的・論理的な視点による事象の理解、及び課題解決のための応用的な専門的知識と技能を身に付けている。